

古着はパキスタンの 教育に生かされます



アカデミーの子どもたち



将来を選び取る力を育てたい。問題があれば問題を整理し、自分なりの解決の方針性を見出せる力を育てたいとムザヒルさんは願う。親たちのしてきたことは違う解決方法を子どもたちが自分の将来のために選び取っていくことはとても重

グリーンコーポでは、2010年秋にファイバー・リサイクルセンターを福岡市で立ち上げました。「国境を越えた子育て応援」「新しい雇用を作り出す」「古着のリユース・リサイクルの広がり」という3つの目的で、活動に連帯してきたJFSAの協力の下、事業をすすめています。

2011年3月末時点で1,331人の組合員から14.5tの古着が集まっています。グリーンコーポの店舗で2010年12月より古着市を開催しており、その売り上げは古着の選別やパキスタンに送り出すための費用に充てられます。2011年秋には、初めてパキスタンに向けて古着を送り出することになります。

2011年2月11日から15日、この取り組みで支援するパキスタン、カラチ市のアルカイールアカデミーへの視察を行い、校長先生のムザヒルさんに話を聞きました。グリーンコーポを代表して、共同体代表理事の田中裕子さん、ファイバーリサイクルセンターがあるグリーンコーポ生協ふくおかの理事長田原幸子さん、ファイバーリサイクルセンターの事務局長で共同体顧問の行岡みち子さんの視察報告を掲載します。

現地視察で得た言葉と秋に予定されているシンポジウムなどで、これからどうに取り組みを広げていこうことになります。

アルカイールアカデミー訪問報告

グリーンコープ共同体顧問 行岡みち子さん

A woman with short, curly hair, wearing a blue patterned top and light blue pants, stands outdoors. She is smiling and holding a long wooden staff or tool. The background shows a dirt ground and some buildings.



ごみ捨て場に住む子どもたち



ごみ捨て場にある学校。焼却の煙で覆われている

グリーンコープでは、2010年秋にファイバー・リサイクルセンターを福岡市で立ち上げました。「国境を越えた子育て応援」「新しい雇用を作り出す」「古着のリユース・リサイクルの広がり」という3つの目的で、活動に連帯してきたJFS Aの協力の下、事業をすすめています。

2011年3月末時点で1,331人の組合員から14.5tの古着が集まっています。グリーンコープの店舗で2010年12月より古着市を開催しており、その売り上げは古着の選別やパキスタンに送り出すための費用に充てられます。2011年秋には、初めてパキスタンに向けて古着を送り出することになります。

2011年2月11日から15日、この取り組みで支援するパキスタン、カラチ市のアルカイールアカデミーへの視察を行い、校長先生のムザヒルさんに話を聞きました。グリーンコープを代表して、共同体代表理事の田中裕子さん、ファイバーリサイクルセンターがあるグリーンコープ生協ふくおかの理事長田原幸子さん、ファイバーリサイクルセンターの事務局長で共同体顧問の行岡みち子さんの視察報告を掲載します。

現地視察で得た言葉と秋に予定されているシンポジウムなどで、これからさらに取り組みを広げていくことになります。

パキスタン社会の現状と教育

パキスタン社会は格差が大きく、貧困が複雑にからみあっている。政治や宗教や国の土台である教育をちゃんとやれこなかつたことがこの社会を作つた。

1948年、イギリスから独立した時パキスタン政府による公立学校が作られ、どのような階層の子どもたちも宗教や貧富の違いを越えて一緒に学ぶために入学した。これから自分たちの国を建設しようとお互いが一つになろうと懸命だった。1971年に東パキスタン（バングラデシュ）が独立したばかりの頃、教育の場では国を背負う子どもたちに良い教育をしようとした。しかし、東パキスタン独立の後にブット首相が教育方針を変えた。いろんな学校が作られ公立学校の目的や役割が希薄になつていつた。並行して、私立学校が

パキスタンの現状と教育

アルカデミー訪問報告



ごみ捨て場に住む子どもたち



ごみ捨て場にある学校。焼却の煙で覆われている

グリーンコーポでは、2010年秋にファイバー・リサイクルセンターを福岡市で立ち上げました。「国境を越えた子育て応援」「新しい雇用を作り出す」「古着のリユース・リサイクルの広がり」という3つの目的で、活動に連帯してきたJFS Aの協力の下、事業をすすめています。

2011年3月末時点で1,331人の組合員から14-5tの古着が集まっています。グリーンコーポの店舗で2010年12月より古着市を開催しており、その売り上げは古着の選別やパキスタンに送り出すための費用に充てられます。2011年秋には、初めてパキスタンに向けて古着を送り出すことになります。

2011年2月11日から15日、この取り組みで支援するパキスタン、カラチ市のアルカイールアカデミーへの視察を行い、校長先生のムザヒルさんに話を聞きました。グリーンコーポを代表して、共同体代表理事の田中裕子さん、ファイバーリサイクルセンターがあるグリーンコーポ生協ふくおかの理事長田原幸子さん、ファイバーリサイクルセンターの事務局長で共同体顧問の行岡みち子さんの視察報告を掲載します。

現地視察で得た言葉と秋に予定されているシンポジウムなどで、これからさらに取り組みを広げていくことになります。

アルカイールアカデミー訪問

グリーンコーポ共 パキスタンの現状と教育

パキスタン社会は格差が大きく、貧困が複雑にからみあつている。政治や宗教や国の土台である教育をちゃんとやれてこなかつたことがこの社会を作った。

1948年、イギリスから独立した時パキスタン政府による公立学校が作られ、どのような階層の子どもたちも宗教や貧富の違いを越えて一緒に学ぶために入学した。これから自分たちの国を建設しようとお互いが一つになろうと懸命だった。1971年に東パキスタン（バングラデシュ）が独立したばかりの頃、教育の場では国を背負う子どもたちに良い教育をしようとして努力していた。

しかし、東パキスタン独立の後にブツ首相が教育方針を変えた。いろんな学校が作られ公立学校の目的や役割が希薄になつていつた。並行して、私立学校が急速に増え、貧しさや民族の違いによる教育格差が上がり、貧しい子どもたちが学校に行かなくなつた。建國のために良い教育をという目的も失われていった。私立学校では豊かな教育ができるが、公立学校では金もなく、ちゃんとした教育をしないために子どもちはますます学校に来なくなった。名前も書けない教科も読めない子どもたちは学校の外に出ても、騙され搾取され仕事にも就けず、社会の現場で物乞いなどをせざるを得なくなり状況は一層悪化した。

その状況の中で1987年、ムザヒルさんはアルカイールアカデミー（以下学校）を作り、子どもたちが学校に希望を持つない状況を少しでも変え、子どもたちを教育の現場に戻していく努力をはじめた。

教育で得るもの

貧しい親たちは子どもに

生き方を学ぶ

グリーンコーポでは、2010年秋にファイバー・リサイクルセンターを福岡市で立ち上げました。「国境を越えた子育て応援」「新しい雇用を作り出す」「古着のリユース・リサイクルの広がり」という3つの目的で、活動に連帯してきたJFS Aの協力の下、事業をすすめています。

2011年3月末時点で1,331人の組合員から14-5tの古着が集まっています。グリーンコーポの店舗で2010年12月より古着市を開催しており、その売り上げは古着の選別やパキスタンに送り出すための費用に充てられます。2011年秋には、初めてパキスタンに向けて古着を送り出すことになります。

2011年2月11日から15日、この取り組みで支援するパキスタン、カラチ市のアルカイールアカデミーへの視察を行い、校長先生のムザヒルさんに話を聞きました。グリーンコーポを代表して、共同体代表理事の田中裕子さん、ファイバーリサイクルセンターがあるグリーンコーポ生協ふくおかの理事長田原幸子さん、ファイバーリサイクルセンターの事務局長で共同体顧問の行岡みち子さんの視察報告を掲載します。

現地視察で得た言葉と秋に予定されているシンポジウムなどで、これからさらに取り組みを広げていくことになります。

アルカイールアカデミー訪問

グリーンコーポ共 パキスタンの現状と教育

パキスタン社会は格差が大きく、貧困が複雑にからみあつている。政治や宗教や国の土台である教育をちゃんとやれてこなかつたことがこの社会を作った。

1948年、イギリスから独立した時パキスタン政府による公立学校が作られ、どのような階層の子どもたちも宗教や貧富の違いを越えて一緒に学ぶために入学した。これから自分たちの国を建設しようとお互いが一つになろうと懸命だった。1971年に東パキスタン（バングラデシュ）が独立したばかりの頃、教育の場では国を背負う子どもたちに良い教育をしようとして努力していた。

しかし、東パキスタン独立の後にブツ首相が教育方針を変えた。いろんな学校が作られ公立学校の目的や役割が希薄になつていつた。並行して、私立学校が急速に増え、貧しさや民族の違いによる教育格差が上がり、貧しい子どもたちが学校に行かなくなつた。建國のために良い教育をという目的も失われていった。私立学校では豊かな教育ができるが、公立学校では金もなく、ちゃんとした教育をしないために子どもちはますます学校に来なくなった。名前も書けない教科も読めない子どもたちは学校の外に出ても、騙され搾取され仕事にも就けず、社会の現場で物乞いなどをせざるを得なくなり状況は一層悪化した。

その状況の中で1987年、ムザヒルさんはアルカイールアカデミー（以下学校）を作り、子どもたちが学校に希望を持つない状況を少しでも変え、子どもたちを教育の現場に戻していく努力をはじめた。

教育で得るもの

貧しい親たちは子どもに



ごみ捨て場に住む子どもたち



ごみ捨て場にある学校。焼却の煙で覆われている

ファイバーリサイクル事業パキスタン視察報告

私たちが届けた古着



アルカイルアカデミーの子どもたちと。前列左2人目から、行岡さん、田中さん、田原さん

子どもたちの教育



アルカイルアカデミー



いとムザヒルさんは願う。親たちのしてきたことは違う解決方法を子どもたちが自分の将来のために選び取っていくことはとても重要なことだ。ムザヒルさんは考えている。

アルカイル アカデミーでの学び

ファイバーリサイクルの取り組みは ムザヒルさんの思いに連帯すること

グリーンコープ共同体代表理事 田中裕子さん

2010年秋からグリーンコープが本格的な取り組みをはじめたファイバーリサイクル事業の契機となつたパキスタンの子どもたちへの支援。その実状を知るために、2011年2月パキスタンを訪れました。汚水が流れ込む校庭やハ工の群がある学校、アルカイルアカデミーでは、想像以上に過酷な状況の中で子どもたちは学んでいました。汚水の中でも子どもたちは熱心に目を輝かせて勉強しています。児童労働が当たり前のパキスタンでは半日だけでも学校に通えるのはまだ幸せな子どもたちかもしれません。叶えることはとても困難に思える将来の夢を、それで目を輝かせて話してくれた少女もいました。

スラム街やごみ捨て場にある学校、アルカイルアカデミーでは、想像以上に過酷な状況の中で子どもたちは学んでいました。汚水が流れ込む校庭やハ工の群がある教室、机も椅子もない中で子どもたちは熱心に目を輝かせて勉強しています。児童労働が当たり前のパキスタンでは半日だけでも学校に通えるのはまだ幸せな子どもたちかもしれません。叶えることはとても困難に思える将来の夢を、それで目を輝かせて話してくれた少女もいました。

10人の子どもたちに教育を受けることを希望するムザヒルさんは、教育の目的は子どもが仕事をしなければならない状況の中で自分自身を見出し、作り出していくこと。そして教育の成果は子どもたちがどんな人生を生きていくのか、どんな風に考へいくのかを選び取る力だと言われたことがとても心に残りました。

グリーンコープがすすめるファイバーリサイクルの取り組みは、ムザヒルさんのこの思いに連帯していくことだと感じました。パキスタンの過酷な現実、子どもたちの笑顔、ムザヒルさんの熱い思いとその思いを支えるたくさんの人たちとの出会いは私の心に深く刻まれ生涯忘れることのない視察になりました。

劣悪な環境の中、どの子も真剣なまなざしで学んでいました

グリーンコープ生協ふくおか理事長 田原幸子さん

騒然としたスラム地区の学校で熱心に学んでいる子どもたちと出会ってきました。10年生の女の子は「医者になって地域のために貢献したい」と目を輝かせていました。8年生の男の子は「楽しく勉強している。早く働いて親を助けたい」と、はにかみながら話してくれました。子どもたちは自分の家族状況と向き合い、早く働いて親を助けたい、あきらめないで将来を見つめていてたくましいなど感じました。カラチクンディの分校の子どもたちとの出会いは衝撃的でした。ごみ焼却の煙が覆い、大量のハ

10人の子どもたちに教育を受けることを希望するムザヒルさんは、教育の目的は子どもが仕事をしなければならない状況の中で自分自身を見出し、作り出していくこと。そして教育の成果は子どもたちがどんな人生を生きていくのか、どんな風に考へいくのかを選び取る力だと言われたことがとても心に残りました。

10人の子どもたちに教育を

受験資格認定試験)に備え

テス

がみなぎっていた。子ども

いた。10年生の子どもたち

は5月のマトリック(大学

受験資格認定試験)に備え

テス

がみなぎていた。子ども

いた。10年生の子どもたち

は5月のマトリック(大学

受験資格認定試験)に備え